

定 員 定員100名（先着順：定員に達した時点で大阪大学大学院言語文化研究科言語文化専攻HPに揭示します。）

本講座は、社会と大学を直接的に結び、大学の基礎・応用研究を学校の現場で活かしていただくことを主眼としており、中学、高校、小学校などで英語教育に携わっている方ならびに携わることを目指している方を対象にしています。それ以外の方は定員に余裕がある場合に限り、受講可とさせていただきますので、本研究科HPでご確認ください。本学規定以上の講義数を受講された方には大阪大学総長名の大阪大学エクステンション修了証書を授与いたします。

教材作成・連絡郵送費 7,500円

参加申込み（受付期間 7月2日（月）～7月17日（火）期限厳守）

- ①**E-mail** (アドレス: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp) または下欄の「受講申込書」に、氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、メールアドレス、職業、勤務先名、選択講義、懇親会の参加・不参加をご記入のうえお申し込みください。
- なお、「受講申込書」で申し込まれる方は、下記宛先まで郵送またはファックスでご送付願います。
- 宛先：〒560-0043 豊中市待兼山町1－8
大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係
FAX：06－6850－5865
- ②受講の可否を申込み受付後、E-mailにて通知いたします。お申し込み後、1週間以内にこちらから通知が届かないようでしたら、一度お問い合わせください。
- ③E-mailによる受講許可通知に記載の方法にて、ゆうちょ銀行の振替口座へ受講者氏名でお振り込み（手数料はご本人負担）願います。

会 場 **大阪大学中之島センター** (<http://www.onc.osaka-u.ac.jp> 地図掲載) (所在地 大阪市北区中之島4－3－53)

電車によるアクセス **京阪中之島線** 中之島駅より徒歩約5分 **阪神本線** 福島駅より徒歩約9分
JR東西線 新福島駅より徒歩約9分 **JR環状線** 福島駅より徒歩約12分
地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約10分

バスによるアクセス **大阪市バス** 53系統・75系統 大阪駅前バスターミナル → 田蓼橋下車 徒歩1分
大阪市バス 107系統 天満橋 → 淀屋橋 → 肥後橋 → 土佐堀一丁目下車 徒歩6分

テーマ討論懇親会

修了証授与式後、講師陣と受講者とが親しく意見交換する場です（軽食と飲み物を提供）。
（参加費1,000円程度：お振り込みをなされずに、初日に会場受付でお支払いください。）

- ・お振り込みいただきました教材作成・連絡郵送費は、欠席された場合でも、返金できませんので、ご了承ください。
- ・大阪大学エクステンション修了証書は全講義の60％以上に出席された受講生の方に授与いたします。それ未満の方には受講証明書を後日送付いたします。
- ・お申し込みの際に必要なみなさまの情報は、連絡先の把握及び今後の公開講座運営上の統計資料作成、関連情報の提供以外には使用いたしません。

問い合わせ：大阪大学言語文化研究科・外国語学部豊中事務室総務係
(E-mail: genbun-soumu@office.osaka-u.ac.jp、TEL:06-6850-5855)

主 催：大阪大学大学院言語文化研究科 <http://www.lang.osaka-u.ac.jp/lc/>

後 援：大阪府教育委員会・兵庫県教育委員会

平成24年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

「教員のための英語リフレッシュ講座」受講申込書（記載漏れがある場合には受講できません）

(フリガナ)				年 齢	歳
氏 名					
住 所	(〒)				
	日中連絡可能なお電話番号： ()				
E-mail (必須)	@				
職 業 (必須)		学校名	TEL： ()		テーマ討論懇親会
					参加する・参加しない
8月7日（火）15:00～17:00	() 「小学校英語活動における理論と授業実践」 () 「英詩の世界を味わう」				ご希望の選択 講義名 () に○を記入
8月8日（水）12:50～14:20	() 「英文を読む楽しみ」 () 「英語の歴史を学ぶ意味」				
8月8日（水）14:30～17:00	「コミュニケーション」 () 「基礎」／() 「中級」／() 「上級」				

平成24年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座

「教員のための英語リフレッシュ講座」

日程：平成24年8月6日(月)、7日(火)、8日(水)、9日(木)、10日(金)
会場：大阪大学中之島センター

オーラルコミュニケーション重視の授業に舵きりされて久しいが、中学、高校の（リスニング以外の）英語力は着実に低下しつつげている。また教員の態勢が整わない段階での小学校英語の導入や「授業は英語で」という新学習指導要領の方針にどう対処するかという難題も抱え、教育現場では戸惑いと混乱が広がっている。

本講座では、文科省の教育改革が無定見に揺れる中、（理論的な根拠もなく英語教育の失敗の元凶とされた）「文法と訳読」が外国語学習環境での英語力の基盤育成に不可欠であるとの認識の下に、教室でも応用可能な現代の文法・語法・辞書研究の成果を紹介するほか、関連研究領域（言語習得論や学習動機・方略研究、脳機能研究など）の最近の理論的な知見を踏まえ、英語力を着実に伸ばし運用能力の育成にもつなげる授業のあり方を（ネットやCALLの活用を含め）総合的に考察するだけでなく、小学校英語にいかに対応するかについても論じる。教員それぞれの造詣・技量を適切に活かし、生徒も理解・納得できる魅力的で効果的な教育の実践を期するものである。また「発音の動的な変化の仕組み」「リズムとイントネーション」「音読の技法」を分かりやすく解説・訓練するとともに、「ネイティブスピーカーによる体験授業」を通じて英語運用力の向上を図るほか、文学作品の意味・語用・文体論的分析も行ない授業にも生かす知見を深める。全体討論では、諸外国との比較や言語習得研究を踏まえ、日本の英語教育のあるべき姿を（教員養成をも含め）探るとともに、受講者の質問に答えて現場での疑問についても討議する。

講師および演題

8月6日（月）

10:00～12:30「日本人に相応しい英語教育－言語習得研究を踏まえて」（最初に講座オリエンテーション） 成田一教授
13:10～15:00「英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀」 成田一教授
15:10～17:00「生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法」 （京都外国語大学） 鈴木寿一教授

8月7日（火）

10:00～12:00「認知的視点から見た英文法」 早瀬尚子准教授
12:50～14:50「コーパスと英語辞書と語彙指導」 （京都外国語大学） 赤野一郎教授
＊15:00～17:00「小学校英語活動における理論と授業実践」 西田理恵子講師
＊15:00～17:00「英詩の世界を味わう」 小口一郎准教授

8月8日（水）

10:00～12:00「『国際英語』教育の理論と授業実践」 日野信行教授
＊12:50～14:20「英文を読む楽しみ」 沖田知子教授
＊12:50～14:20「英語の歴史を学ぶ意味」 尾崎久男准教授
＊14:30～17:00「コミュニケーション基礎」 ボブ・パーキンス特任准教授、デーヴィド・マレー講師
＊14:30～17:00「コミュニケーション中級」 サイモン・コーム特任准教授、スティーヴ・ミュラー講師
＊14:30～17:00「コミュニケーション上級」 ジェリー・ヨコタ教授、トレーン・デヴォア特任准教授

8月9日（木）

10:00～12:00「文脈を利用した文法構文の教え方」 （関西外国語大学） 岡田伸夫教授
12:50～14:50「ESPによる英語運用力の底上げ」 （神戸市看護大学） 川越栄子准教授
15:00～17:00「現代英語の語法を考える」 （関西学院大学） 八木克正教授

8月10日（金）

10:00～11:30「EUとアジアの英語教育に学ぶ」 （京都光華女子大学） 河原俊昭教授
12:20～13:20「リズムとイントネーションが運用の決め手」 （関西国際大学） 有本純教授
13:30～15:00「歴史に学び英語教育の目的を問い直す」「協同学習の可能性」 （和歌山大学） 江利川春雄教授
15:10～16:40 全体討論「英語で授業ができるのか？－運用に偏し、ゆとり教育の轍を踏むな－」 講師陣
16:45～17:00 講座修了証授与式 大学院言語文化研究科長 木村茂雄教授
17:15～19:00 テーマ討論懇親会（講師陣のミニスピーチと意見交換）

- ＊8月7日(火)の「小学校英語活動における理論と授業実践」と「英詩の世界を味わう」、8日(水)の「英文を読む楽しみ」と「英語の歴史を学ぶ意味」、そして「コミュニケーション」の「基礎・中級・上級」は選択です。申し込み時に選んでください。
- 会場では6日(月)に本講座の講師陣が執筆の『英語リフレッシュ講座』(大阪大学出版会)を著者割引1,900円で頒布いたします。

講師プロフィール & 講義内容



日本人に相応しい英語教育－言語習得研究を踏まえて 英語らしい発音の科学－ダイナミックメカニズムと発音・聴解の秘儀

成田 一

言語文化教育論講座教授 英日対照構造論・機械翻訳・言語教育/計画専攻
著書に『パソコン翻訳の世界』（講談社）ほか、編著に『英語リフレッシュ講座』（大阪大学出版会）ほか。英語教育総合学会会長。
講義内容：文法・訳読の役割を見据え、運用能力の育成にも繋がる授業のあり方を、教師の力量を活かし生徒の学習意欲を高めるという視点から総合的に検討。「小学校英語」、「英語で授業」、「社内英語化」などの問題点も論じる。
講義内容：「ダイナミックな発音変容の仕組みの理解を踏まえた発音・聴解訓練」の解説と訓練を行うとともに、発声の生理的仕組みをMRI動画、音読時の脳活動画像などを示して解説する。



生徒の英語力を伸ばす音読指導－留意点と技法

鈴木寿一

京都外国語大学教授 英語教育学（指導法研究）専攻
4技能、文法、語彙指導法を実証的に研究。共編著に『より良い英語授業を目指して』（大修館書店）。関西英語教育学会副会長。
講義内容：音読は英語力を伸ばすために不可欠だが、不適切な指導が行われていることが多い。講義では、問題のある音読指導を取り上げながら効果的な音読指導を行うための留意点を確認後、効果的な音読指導法を紹介する。



認知的視点から見た英文法

早瀬尚子

言語認知科学講座准教授 認知言語学専攻
英語構文と意味、主観性、視点を研究。編著に『英語構文のカテゴリー形成』（勁草書房）、『認知文法の新展開』（研究社）、『「内」と「外」の言語学』（開拓社）。
講義内容：認知言語学は「言語形式は我々の捉え方を反映する」「言語表現の意味はその使用文脈において決定される」と考える。この考え方を基に、前置詞や動詞の多義、構文の書き換えに伴う意味の違い、日英発想法と英作文パターンなどを扱う。



コーパスと英語辞書と語彙指導

赤野一郎

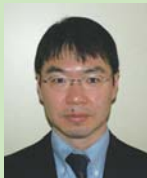
京都外国語大学教授 語法研究・辞書学・コーパス言語学専攻
『ウィズダム英和辞典』（三省堂）など、コーパスに基づく語彙研究と辞書編纂に従事。
講義内容：最近の辞書はコーパスに基づき編纂されている。その特徴の1つは豊富なコロケーション情報である。語彙指導においてもコロケーションの重要性が認識されつつある。本講義ではコーパスと英語辞書とコロケーションの関係について考える。



小学校外国語活動における理論と授業実践

西田理恵子

言語文化教育論講座講師 外国語教育学専攻
外国語教育学博士。外国語学習における動機づけや情意要因に関する研究に関心を寄せる。教育委員会・公立小学校で助言・指導を務めた。
講義内容：理論と実践を融合させて講義を行う。社会・教育心理学の視点から理論を述べ、プロジェクト型授業実践、内容重視のアプローチ、ICT活用に関する実践を行う。



英詩の世界を味わう

小口一郎

言語文化教育論講座准教授 イギリスのロマン派文学・近代思想専攻
著書に『Voyages of Conception: Essays in English Romanticism』（Kinohara-Shoten）、『揺るぎなき信念－イギリス・ロマン主義論集』（彩流社）。
講義内容：詩は古来より、イメージを駆使することで、感受性や思想を表現してきた。今回の講義では鳥類のイメージに着目し、詩が表わした人間の認識や心理の歴史的変遷の一端を理解したい。



「国際英語」教育の理論と授業実践

日野信行

言語文化教育論講座教授 「国際英語」教育専攻
元「百万人の英語」講師。著書『トーフルで650点：私の英語修業』（南堂）。大阪大学共通教育賞13回。日本「アジア英語」学会会長。
講義内容：非母語話者のそれぞれの文化に基づく英語を尊重する「国際英語」の概念について論じるとともに、授業当日の各国の英語ニュースを用いる本講師の授業など、「国際英語」教育の実践について紹介する。



英文を読む楽しみ

沖田知子

言語コミュニケーション論講座教授 ことば学専攻
意味論・語用論・文体論の観点から、ことばの選択や使用、遊びも対象にことば学を研究。著書に『謎解き「アリス物語」』（PHP新書）など。
講義内容：ことばの選択や文脈なども含め「なぜこのような言い方をし、どのようなことを言おうとしているのか」を意識して立体的にこころを読み解く方法を考える。講義では、ことばの使用とそこに含まれるものを読み解くことから「英文楽」を味わいたい。



英語の歴史を学ぶ意味

尾崎久男

言語文化比較交流論講座准教授 中世ゲルマン語学専攻
文学博士（英語学）。日本中世英語英文学会評議員。印欧語全般（特にゲルマン語）を対象として、言語間の相互影響を調査・研究。
講義内容：英語の歴史に関する知識があつて初めて、現代英語の姿が正確に見えてくる。例えば、suggestという動詞に続くthat節の中で「原形」が使われる、と教えることが、どうして誤りであるのかを認識していただきたい。

コミュニケーション



基礎 ①How to be more confident when it's your turn to speak

ボブ・パーキンス

特任准教授、TESOL・ELT修士

講義内容：コンピュータ技術を活用し現在の英語力で英語コミュニケーション力を向上させる。



中級 ①Conversation Groups and Oral Communication

サイモン・コーム

特任准教授、工学博士、応用言語学修士

講義内容：英語コミュニケーション力を向上させる様々な方略を提案する授業を行う。



上級 ①Multicultural Literacy in the EFL Classroom

ジェリー・ヨコタ

現代超域文化論講座教授 比較文学・演劇学専攻

文学博士。修辞、パフォーマンス、ジェンダー、翻訳を中心に、アートを国際コミュニケーションのメディアと捉えて研究。
講義内容：模擬授業の後、教員が現場で直面する問題について討議し、その問題解決への道を拓く。



文脈を利用した文法構文の教え方

岡田伸夫

関西外国語大学教授 生成英文法・学習英文法専攻

英文法研究の成果を英文法指導に活かす方法を探っており、The Daily YomiuriにエッセイExploring the Grammar of Englishを連載中。
講義内容：文法構文は、文脈や場面から切り取り、それだけを単独で教えることが多い。しかし、その教え方では当該の文法構文の本質的な意味を伝えることは困難である。この講義では、文脈や場面の中で文法構文を教えるのがよいということを具体例を使って示す。



ESPによる英語運用力の底上げ

川越栄子

神戸市看護大学准教授 英語教育学(ESP)専攻

著書に『Travelers' First Aid Kit』（センジャー・ラーニング）、『実践的時事英語医療版 ーザ・デイリーヨミウリを読む』（大学教育出版）など。
講義内容：ESP（特定目的のための英語）教育が英語教育の流れを大きく変えている。将来の職業に必要な英語や特に関心を持つ分野の英語を教えることで、英語学習への興味とモチベーションを高め、英語力を伸ばすことができる。英語嫌いも英語好きにする特効薬である。



現代英語の語法を考える

八木克正

関西学院大学教授 英語学・英語フレイジオロジー専攻

英語辞典・事典編纂者。新著『英語の疑問 新解決法』（三省堂）、『英語教育に役立つ英語の基礎知識Q & A』（開拓社）。
講義内容：言語は常に変化している。古い表現法や文法規則の桎梏を離れ、英語の解釈や分析上の問題を考え上での基本的な考え方、道具立て、論理展開の方法を具体的な例を通じて考える。



EUとアジアの英語教育に学ぶ

河原俊昭

京都光華女子大学教授 言語政策・アジア英語・英語教育専攻

世界各地の言語教育の実態を研究。編著書に『世界の言語政策』（くろしお）、『アジア・オセアニアの英語』（めこん）など。
講義内容：アジアやヨーロッパをはじめ、世界には多言語国家が多い。そこでは、多言語社会であることを前提に言語教育が行われてきた。日本の今後の言語政策のあり方に関して、EUやアジアの諸国の英語教育から多くのことを学ぶことができる。



リズムとイントネーションが運用の決め手

有本 純

関西国際大学教授 英語音声学（音響分析/発音指導）専攻

『ジーニアス英和辞典』『ジーニアス英和大辞典』の発音を担当、発音指導法普及の為、高校生から教員までワークショップを実施。
講義内容：英語の発音指導では、とすれば母音や子音の指導に偏りがちであるが、英語の運用力を付けるには、リズムやイントネーションの訓練に重点を置くべきである。その音声学的側面と、授業で直ぐに使える具体的な指導法も提示する。



歴史に学び英語教育の目的を問い直す 協同学習の可能性

江利川春雄

和歌山大学教授 英語科教育学・英語教育史専攻

英語学習史・政策史を踏まえ、英語教育のあり方を提言。著書に『受験英語と日本人』『日本人は英語をどう学んできたか』（研究社）ほか。
講義内容：浅薄な英会話偏重とスキル主義によって英語力低下、英語嫌い、格差が進行している。英語教育史から学び、日本人にふさわしい目的論と学習法を提言する。キーワードは、教養と実用、読解力と思考力、民族共生と複言語主義、格差是正と協同学習である。